

## 町の魅力を生かす歳出案づくりを通して、財政問題について考える

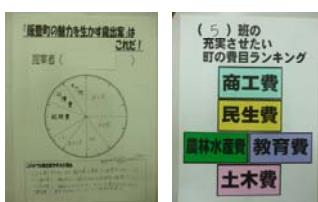
飯豊町立飯豊中学校教諭 3学年 小林 智子

実施年月日：平成30年10月及び12月 51名

### 1 実践計画・指導のねらい

生徒たちは総合的な学習で自分たちが住む飯豊町の魅力と課題について学習してきており、まちづくりに関心を持ち始めている生徒も多い。しかし、その財政状況については、具体的に理解しているわけではない。そこで、地方自治の意義やしくみについて学習したあと、飯豊町の魅力を生かす歳出案を考えさせることで、地方財政に対する興味関心を高め、その財源となる税に目を向けさせながら地方公共団体が抱える財政上の課題について理解を深めさせたいと考えた。

### 2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	「自分が住む町のまちづくりを考える」 <ul style="list-style-type: none"><li>・飯豊町の魅力を認識しながら、魅力あるまちづくりについて予算づくりを通して考える。</li><li>・歳出項目の優先順位や大まかな割合を考え、グループで話し合って、飯豊町の魅力を生かす予算案を円グラフにまとめる。</li></ul>	<p>○ <b>飯豊町の魅力を生かす歳出案を考えよう</b></p> <p>● 魅力あるまちについていくために、今後町ではどのようなことに力を入れていったらいいか、また行政サービスの中でどの費目を充実させていくべきかについて、自分なりに考え、理由をあきらかにしながら意見を出し合い、考えを深めることができた。</p> <p>□使用教材名</p> <p>「平成30年度 飯豊町の『わかりやすい予算書』」</p> 
2	「地方財政のしくみと課題」 <ul style="list-style-type: none"><li>・地方公共団体が抱える財政上の課題について調べる。</li><li>・地方公共団体の財源とその使い道について、統計資料を基に理解する。</li></ul>	<p>○ <b>地方財政はどのような課題をかかえているのだろうか。</b></p> <p>● 資料から、地方公共団体の多くで自主財源が減少し、依存財源に頼っている状況にあることを読み取ることができた。</p> <p>□使用教材名</p> <p>資料集 「ビジュアル公民」(とうほう)</p> <p>「平成30年度 飯豊町の『わかりやすい予算書』」</p>

#### 【指導のポイント】<1時間目>

よりよい飯豊町にするための具体的方法を考え、整理させる際、ブレーンストーミングとKJ法を用いた。また、魅力ある飯豊町をつくっていくために充実させたい行政サービスの優先順位を、ダイヤモンドランクィングなどの手法を用いながら考えさせた。限られた財源の中でどうすればよりよいまちにできるか、町民にとって本当に必要な行政サービスは何かについてじっくり考えさせた。

#### 【指導のポイント】<2時間目>

飯豊町の歳入の内訳の資料から、依存財源が高い現状を読み取り、地方公共団体の多くが同じような状況であることを理解させた。

#### 【指導のポイント】<3時間目>

長井税務署と山形税務署より職員の方をお招きして、租税教室を実施した。  
イラスト入りのカードを用いながら、税の種類や使い道などについて説明していただいた。また、財政赤字の実態についてもお話をいただき、公債の発行は慎重に行わなければならないことを理解できた。

### 3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 自分たちが暮らす町を自分たちでよりよくしたいという思いから、地域の発展を自分事として考え、町民にとって本当に必要な行政サービスは何かについて意欲的に意見を交わし合う姿が見られた。それゆえに、自主財源が減少し依存財源に頼らざるを得ない現状をより問題意識をもってとらえ、地方財政の課題に対して真剣に向き合い考えを深めることができた。
- ◎ 租税教室では、視覚教材を活用した説明に、生徒たちは興味深く耳を傾けていた。事前の打ち合わせの中で当日のシナリオについても十分に意見交換をさせていただいていたため、過不足なく網羅された内容の講義となり、大変ありがたかった。
- ◆ リーフレット「私たちの暮らしと税」は大変わかりやすくまとめられているので、生徒の理解を補うための資料としては適当であったが、授業時数に余裕がなく、思うように活用することができなかつたのが残念であった。